



新年のごあいさつ

理事長 小山 眞

新年あけましておめでとうございます。

皆さんがそろって元気に新春を迎えられたことは大変嬉しく、感謝いたします。昨年、平成29年は自然災害の多い年で九州北部の人々が水害により大変な生活環境となられるなど数多くあった残念な年でもありました。今年はぜひ明るい良い年になりますようお祈り申し上げます。

その中で当法人は、利用者みなさんとスタッフが一年を通し、色々と学び向上した年であったと思います。楽しかった旅行やイベントもありました。7月21～22日、横浜にて精神保健福祉法の改正の内容や施設の内容の一層の向上を学び、11月18～19日には、当法人のスタッフが中心になり「あみ」のフォローアップ研修会 in 高崎「私たちにできること・すべきこと」を企画開催し多く学びがありました。今後に生かしていきたいと思います。

最後にかねてからの目標である「グループホーム」の建設の件ですが、実現をめざし努力中ですのでもう少しお待ち頂きたいと思います。

今年もスタッフと利用者が力を合わせて社会の一員として明るく共生していけますよう一層の勉強と努力を重ねていきたいと思います。



..... イベント報告

初めてのイルミネーションツアー

障害福祉サービス事業所 すまいる-京目 三浦 恵

12月1日、あしかがフラワーパークにイルミネーションを見に行きました。初めての夜のお出掛けにちょっとドキドキ。さーくる14名、すまいる38名、車に分乗して出かけました。すまいるで作ったおにぎりや唐揚げの弁当付きです。利用者さんに握るのを手伝ってもらって準備しました。混んでいると言われましたが、日没前に着いたので近くの駐車場に止められ一安心。ここは樹齢100年を超える大藤が有名ですが、花の房に見たてたライトが一面に下がりとてもきれいでした。本物の花房も1m近くある立派なものだということ。次は花の季節に来て、実際の藤も見たいものだと思います。チャペルや、花占いのイルミネーションもあり、とってもロマンティック♡♡ カップルにお勧めです。見学後には、佐野ラーメンや温かい飲み物をいただき、お土産を買って帰りました。夜遅いので、自宅近辺までの送迎も行いました。今回参加しなかった人も、次回は一緒に行きませんか❀



USJ・大阪一泊旅行

障害福祉サービス事業所 すまいる-京目 登丸照美

2017年6月29日(木)5時50分、高崎駅に集合し、曇り空の中、新幹線で大阪に向け出発しました。利用者の方13名、職員5名、はぐれないように気を付けながら移動しました。新大阪駅からはJRを乗り継ぎ、最寄りの駅で降りて少し歩けば、もうそこは目的地のユニバーサル・スタジオ・ジャパンです。

入場後は班に分かれて、思い思いに行きたい所へ行きました。ハリーポッターやミニオンのアトラクションは少々待ち時間が長かったですが、大迫力で楽しみましたし、絶叫系アトラクションに挑戦して、おもしろかったと喜ぶ強者もいました。おみやげをみたり、パレードにはしゃいだりと十分に満喫して、USJを後にしました。



その日は新大阪駅近くのホテルに泊まり、翌日は朝から雨でしたが、朝食をしっかり食べて難波へ。まずはグリコの看板の前で写真を撮り、その後は道頓堀や戎橋筋をブラブラしながら、たこ焼きやお好み焼きや串カツなどを食べ、おみやげは551蓬菜の豚まんです。

そしてお昼すぎには難波を出て、午後5時すぎ、全員無事に高崎駅に到着し、解散しました。

だるま作り教室

障害福祉サービス事業所 すまいる-京目 本間真澄

平成29年11月30日、ハーモニーケアセンターの学習室で今回20回目のベテラン講師、峯岸喜美次さんの指導でだるまの絵付けをしてきました。

私のだるまのイメージは神棚の隣にいる赤いなその置物です。

初市で買って来て父親が目を塗り、いつのまにか両目に色が入り、また次のだるまになっている。一年で変わる不思議な置物です。

絵付けをしながら高崎だるまの細部(色・形・白目など)の説明、達磨大使の功績、だるま市の復活などいろいろな話を聞かせて頂きました。

なその置物ひとつにたくさんの意味が込められていました。

出来上がりは大量生産のだるまと違い、個人の“あじ”があり力強さやかわいらしさもあって、皆さんの個性が出た素敵のだるまに仕上がりました。楽しい時間を過ごしました。



バスハイク in 那須りんどう湖

障害福祉サービス事業所さーくる 田中精二

17年度的那須バスハイクの道中、ただ食っちゃ寝だけじゃ面白くなかんべ?、と言う事で、当初行先の動物園に合わせ動物クイズ大会を行う事になり、その問題作成のお鉢が回ってきた。

暇つぶしクイズなんぞネットで拾ってくればいいべ?、と思うかもしれないが、そんなスマホでググって全問正解ってのじゃ、参加者の脳の活性化にならんとこの思いから、下手な知識がある方が引かかる出題にしてみたら、それでは「正解者ゼロ」も有り得る、との意見から全問三択に決まったその瞬間、脳裏には「三択の女王」竹下景子の姿が浮かんでいた(違)

三択と言うのは、回答者からすると正解率が約3割と高くなる一方、出題者からすると答えを3つ作らなければならないので、手間と時間と経費節約の為、某古本屋の百円コーナーで入手した資料本中の動物の種類や特徴をざっと纏め、不正解用のガセや引っ掛けも含めたエピソードを膨らましつつ問題を作ったが、その資料の中に「へんないきもの」なんて本があったので、罨を仕掛けるまでもなく偏った出題傾向になっていたかも知れぬ(笑)



プライムの各施設職員から・・・。

昨年を振り返って

地域活動支援センター アロマ 大塚光彦

最初は、4月に高島屋主催バス旅行で沼田へ、イチゴ狩りとバーベキュー！
6月には、春のバスハイクで長瀨へ、ロープウェイで宝登山へ登り、お蕎麦と有名な天然氷のかき氷を美味しく食べました！9月には、法人バス旅行で那須りんどう湖へ。11月には、秋のバスハイクで、天空回廊スカイブリッジを渡り、関東最大級の鍾乳洞の上野村不二洞へ！
お昼は名物イノブタの焼き肉を食べましたが、思ったより匂いもクセもなく美味しく頂きました♪
そして、大きく変わったのはメンバーでした。
昨年2月から9月までの間に9名が退所して、一般就労を含めA・B型への移行が5名、在宅等へ4名、ほぼ月平均1人の割合となりました。
5名の就労は、地域活動支援センターの役割としては喜ばしいのですが、生産活動上では作業力が落ちるので、アロマみんなで協力しながら効率よく作業を進めて行きました。
振り返って思うことは、「よく働き！よく遊び！」



ウォーターサーバーのメンテナンス業務について

障害福祉サービス事業所さーくる 日向野浩子

平成27年4月の開所当時から始めたウォーターサーバーのメンテナンス事業は今年初めに倉庫を増設し、多くのサーバーのメンテナンスを行うことが出来るようになってきました。
現在では取り扱い機種も10種類を超え、仕事量も増えましたが、工夫しながら日々みんなで取り組んでいます。仕事内容としては約1年間様々な場所で使用したサーバーをきれいにし、再度組み立て直してから出荷するため、洗浄作業以外に検査や組立など工程も様々です。作業に参加する利用者さんと工程ごとに分かれて作業するため一人ひとりの作業の進み具合を確認しながら取り組み、時には良いやり方を教え合いながら頑張っています。得意な仕事もあれば苦手な仕事もあり、大変なこともあります。一緒に働く中で『昨日よりも上手に出来た』を大事にしながらみんなで協力して作業に取り組んでいます。



新しい職場について

障害福祉サービス事業所 すまいる-柴崎 徳井 聡

四月から柴崎で働いています。これまで介護関係の仕事をしていました。始めは新しい環境で働くことに戸惑いがありました。しかし、柴崎の皆さんにお世話になり、暖かい雰囲気の中で仕事をすることが出来るようになりました。

私は仕事がゆっくりで手際よく作業することが苦手です。職場の方々には沢山フォローをしてもらっています。柴崎では主にホッチキスの針の組み立ての作業をしています。私はその作業の中で、検品やハンコ押しは苦手なので、袋の糊付けの作業をさせてもらっています。完成品を工場へ納品する仕事をしています。また、体育館の清掃では利用者と共にトイレ清掃を担当しています。このように私の出来る仕事を配慮してもらっています。仕事の説明もわかりやすくしていただいています。

利用者の方々が一生涯懸命作業をしている姿から、いつも元気をもらっています。周りの方々の暖かい支援があり、何とか仕事を継続することが出来ています。これからも自分の出来る仕事を精一杯していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



すまいる弁当

障害福祉サービス事業所 すまいる-京目 関口育代

お弁当箱を開ける瞬間って、わくわくドキドキしませんか？

お昼のそんな幸せな時間をお届けするのが、すまいる弁当である様に毎日心を込めて作っています。

「お家で作るご飯」をモットーに、冷凍食品は極力使わずに「手作り」にこだわっています。

毎月の献立は献立会議を開いて決まります。いくつかのポイントがあり、それらがバランスよく組み込める献立を考えています。「ポイント 1・旬の食材を取り入れて季節感が感じられるメニューや冬至、節分など昔からの伝統行事を意識したメニュー。」「ポイント 2・豆類、海藻類など普段の食事からは摂取しにくい食材を取り入れる。」「ポイント 3・揚げ物に偏る事がないようにする事また副菜の油も控えめに使う事。」「ポイント 4・魚をおいしく食べられるメニューを考える。」「ポイント 5・健康効果が高いと話題になった栄養素（不溶性・水溶性食物繊維・オメガ3系脂肪酸など）意識して取り入れる。」

体は食べ物から作られています。元気なすまいる弁当を食べて元気な体を作っていきましょう。



～ 「すまいる」から就職した人の投稿です ～

こんにちは。山岸です。わたしは、学生時代に体調をくずしてから、今でも自分自身と戦っています。

すまいる京目に初めて来たのは、六年前くらいだったと思います。それから、一年半くらいお世話になり、就職先を決めることが出来ました。

現在は、ガソリンスタンドで働いています。体調は、周りの人のおかげもあり良好です。この六年間で、身近な人、よく話す人は変化したりしています。しかし、私を支えてくれる人は、いつも、私のことを真剣に考えてくれている人たちばかりです。

最近自身の調子が良くなったおかげで、古い友人、恩師に会って近況報告もできるようになりました。そのような中で、すまいる京目は今でも私の居場所として、私を支えてくれています。

職員の方、関係者の方に感謝しています。

もうすぐ年が変わろうとしています。今年、そして来年

も、良い年にできるように努力していきたいです。

私は、私自身を信じて生きていこうと感じています。これからの人生のこと考えると、悩まされることもあります。

でも、それは自分にとってチャンスに違いありません。きっと、光を見つけて、明るい方向に歩き、最後には笑顔になれるように、全力疾走するのです。

失敗しても大丈夫！あきらめないで走り続けましょう。



昨年就職した人たちの様子

障害福祉サービス事業所 すまいる-京目 倉澤照子

昨年一年間で、就労移行から4人の人が就職しました。事務、厨房作業、清掃、福祉の仕事に就いて現在も元気に働いています。会社訪問をした際、すまいるにいた頃より明るい表情で仕事をしている姿を見ると嬉しくなります。大変な事もあるかと思いますが仕事を通して成長して、良い意味でたくましくなっているようです。昨年就職した人の2人がジョブコーチ利用をしています。

皆さんは「ジョブコーチ」をご存知ですか？利用には企業・本人の同意が必要ですが、企業と本人の間で直接・間接的に支援をしてお互いにスムーズに仕事ができるようにアプローチしてもらえます。ジョブコーチは群馬障害者職業センターの他、企業や施設に資格を持った人がいます。プライムにも上條さん、岡本さんが資格を持っていて、2月には塚越さんも資格を取る予定です。就職して不安な時にプライムで一緒だった職員が支援して貰えることは安心して働けますね。色々な支援を受けながら就職して長く働けるように私も見守りたいと思っています。

平成29年に就職された方々

Uさん	医薬品卸業 事業所内清掃等
Mさん	飲食業 厨房作業
Sさん	新聞社 データ入力作業
Tさん	福祉業 支援員



..... 研修報告

2017フォローアップ研修会

「時代をとらえ、未来につなぐ ～私たちにできること・すべきこと～」

平成 29 年 11 月 18 日 ビエント高崎にて



障害福祉サービス事業所さーくる 松本和子

久しぶりにあみ研修に参加させていただき普段なかなか触れることのできない他の事業所、支援者の声を聴く機会になった。GHにしても自分の施設の利用者さんが利用されているGHの姿を見ているだけだったので、GHでできる支援のあり方の一例としてヴィータの話を聞いて、日中の支援ではないプライベートなところだからこそ気をつけること、答えを出す支援ではなく答えをだせるように支援を考える事、失敗したら何がいけなかったのか一緒に考える支援のあり方しようと思っけていてもつい答えを提案することに目が行ってしまいがちだと反省。

原氏の話では病院側の言い分もあるとは思いますが実際に患者さんが感じる感情も実際なところで、日常施設で利用者さんと接している中でも相手の捕らえ方で利用者さんのためにならないコミュニケーションになってしまうこともあるので、今後も利用者さんの人格背景も把握して接することを心がけたいと思った。施設内に留まることなくいろいろな施設、支援者との関わりで自分を振り返る良い機会になった。

障害福祉サービス事業所 すまいる-柴崎 岡本幸子

【グループホームの精神保健福祉士】～生活に寄り添う支援～小淵氏がお話しされたグループホームヴィータでの支援、ヴィータの支援で大切にしていること、に共感しました。

「ストレングス・その人の持っている強い部分、信用できないと管理につながる。」「エンパワメント・強みをいかす、本人の力を発揮するところを奪わない。」

やりすぎないこと、自分で考え一緒に考えるなど聞いて、今私の支援の仕方が先回りする傾向にあり、世話をされるのが当たり前で自分でやってみることを奪うと思いました。今回のお話を念頭におき支援をしていきたいと思いました。



障害福祉サービス事業所 すまいる-京目 塚越幹雄

いろいろな講話の中で「地域を作る」というワードがしばしば出ていました。「地域を作る」とは、何をするのか？何をすれば良いのか？私は分かりませんでした。活動交流会の時に近藤さんに聞きました。近藤さんの答えは、「地域を作ると言う事は、障害者を受け入れてくれる地域を作ること。」と説明してくれました。ロカーレの小淵代表も活動報告で、「支援する施設の中だけで当事者の生活が完結しては意味がない。地域のいろいろな人達に接したり、いろいろな行事に参加して交流する事が大事だ。」と話をしていました。私は今まで支援とは当事者本人に直接することだと思っけていましたが、そこでは終わらずその先に、「地域を作る」ことがあるのだということが分かりました。

「重監房資料館を訪ねて」

管理者 山本美紀子



昨年11月、草津町にある国立療養所栗生楽泉園内の重監房資料館を訪ねた。又アリーベの半田さんが群馬に住んでいたら一度は行くべきところだと豪語していましたが、まさにその通りでした。

「重監房」とは、ハンセン病者が強制隔離された懲罰用の建物で、正式名称は「特別病室」。実際に治療は行われず、反抗的な患者へ重罰を与える監房として使用されていたところです。そこには昭和13年から9年間に93名が収監され、うち23名が亡くなりました。冬の草津の凍えるような寒さの中、薄い布団一枚と粗末な食事（後の調査で配給された食事のカロリーでは生存不可能という結果）で最長549日収監されていた人もいました。普通に考えればこの環境では生き延びることができませんが、跡地からは配給されていないはずの卵の殻、牛の骨、牛乳瓶などが出土、同じ患者が自らの罰を覚悟で食べ物を差し入れていたのではないかとされています。

平成8年「らい予防法」廃止。しかし故郷に帰れず、今なお楽泉園のなかで暮らす人がいます。そこで暮らさざるを得ないのです。

では、障害をもつ方々はどうでしょうか？彼らと重なるところはないでしょうか？障害者権利条約（平成26年1月30日）第19条には「障害者が他の者との平等を基礎として、居住地を選択し、及びどこで誰と生活するかを選択する機会を有すること並びに特定の生活施設で生活する義務を負わないこと。」と明記されています。私たちはこのことを深く心に刻むべきだと思います。

♪♪♪♪♪♪ ありがとうメッセージ ♪♪♪♪♪♪

- ☺ 赤い羽根共同募金さま 発電機付投光器2台 発電機1台
- ☺ イオンクレジットさま 掃除機 1台
- ☺ イオン高崎さま 活動資金 総額76,300円
(黄色レシートキャンペーン)
- ☺ NPO法人三松会さま 月1~2回の食料品の寄贈



この他にも沢山のご厚意をいただきました。ありがとうございました。



..日替わりお弁当..

注文・配達承ります

すまいる京目弁当事業部

注文専用ダイヤル

027(350)1555

編集後記

あけましておめでとうございます。
昨年は様々な研修に参加したり、みんな
で楽しいイベントを行ったりと盛り
沢山の一年でした。今年もみんなの
笑顔が絶えないような一年にしたい
と思っております。今年も皆様方のご
支援のほど、宜しく願いいたします。
(M.T)

/発行
社会福祉法人 プライム

〒370-0011
群馬県高崎市京目町201-2
障害福祉サービス事業所
すまいる京目内
TEL 027-381-6171
FAX 027-381-6172

ホームページ
<http://prime.or.jp/>

E-mail
smile-kyome@major.ocn.ne.jp

発行責任者 山本美紀子
発行日 平成30年1月5日